

エコプレミアムク  
ラブシンポジウム

# エコプレミアム流25%削減 粹な低炭素社会

2010年8月4日

慶應義塾大学経済学部

細田衛士

# 鳩山イニシアティブの先進性

- 意外と思われるかもしれないが、鳩山イニシアティブは先進的
- 深い分析や戦略もないイニシアティブのどこが先進的というのか
- 実は、何も考えないで打ち出したところに先進性がある⇒普通日本人はこういうことをしない
- あーだこーだ四の五の考え、常識的な線で将来を考えるのが通常の日本的やり方

# しかしそれだけでは流石 「先進的」とは言えないだろう

- 読み込みすぎかもしれないが、鳩山イニシアティブは低炭素社会に向けてシステムを作ろうとする意欲が見て取れる
- さまざまな先進的要素技術が1つのシステムの中で有機的につながることによって革新が起きる
- それを日本人は長く忘れていた
- 53年規制のときにまさにそれが起きた

# 過去から学ぶ

- 53年規制（排出ガス規制）の導入が議論された時、銀行系シンクタンクはこれによって日本の自動車産業に破壊的な効果をもたらされると予測した
- しかしそのようなことは起きなかった
- それどころかささまざまな優秀な要素技術が結合し、自動車製造技術は飛躍的な高まった
- EGI(EFI)の開発、エンジン自体の改善、プラグの技術革新、3元触媒装置の開発
- これによってバリューチェーンも変わった
- オレンジ牛肉の自由化のときもそうだが、だいたいこのような経済予測は当たらない

# システムを作るということ

- 但し、53年排出ガス規制の場合、「システムを作る」というほど大げさなものではなく、従来型のシステムのなかで要素技術を組み合わせるといふもの
- 日本人は「新しいシステムを組み立てる」ということがあまり得手ではない
- 鉄道システムは数少ない例外
- 個体制御と系統制御の双方がうまく行った
- しかも私鉄ではサービス向上も抜群

# エコプレミアム流25%とシステム

- エコプレミアム流25%はまさに新しい経済社会のシステム設計
- 単に要素技術が活用された時の効果を合算するのではなく、それらを組み合わせた時出る力を最大にするようシステムを組み立てる
- 境界条件そのものを変える発想が必要

# たとえば…

- たとえば、良く言われているように、EV・PHVと太陽光発電を結びつけ分散電源システムを作り出す
- このためにはスマートグリッドが必要
- そしてそれぞれの要素技術をつなぎ合わせるシステムを組み立てなければならない
- 標準化、課金方法、バリューチェーンなどなど

# それから…

- それから、何よりも日本の人口は少なくなる
- 上がったと言っても、合計特殊出生率は1.3程度
- 物質的な意味での経済的パワーも小さくなるが、環境負荷も小さくなる
- しかし、見えないものの付加価値を高める力がなくなるわけではない

# たとえば

- シンガポールは資源もないし食料もない、水資源さえない
- ないない尽くしなのに一人当たりのGDPは大きい
- ルクセンブルグやリヒテンシュタインも似たようなもの（ルクセンブルグはアルセロール・ミタルがあるが…）
- 確かに人口規模は違う、だが頭で稼ぐという基本的事実は変わらない

# エコプレミアム流の豊かさ

- エコプレミアム流の豊かさはこれまでの物質的豊かさとは異なる
- 基盤となる食料生産・工業生産などはもちろん確保する
- しかし、より「精神的にお洒落」になることがエコプレミアム流の豊かさではないか
- たとえば清流で釣り糸を垂れることの喜び！

# エコプレミアム流の成長

- エコプレミアム流の成長・発展とは外延的な拡張のことではなく、内包的な充実のこと
- 見えないものの付加価値をより大きくすること
- ということは見えないものの交換価値を高めるような経済システムが必要ということ

# 新たな付加価値を求めて

- 今鉄鋼会社が生産している鉄は50年前のものとは違うだろう
- 50年後、同じものを作っていると考える方がおかしい
- 経済の枠組み自体が大きく変わるのだ
- その方向に向けて大胆に挑戦しなければならない
- そのような挑戦に優等生は不向きだ
- これまでのやり方に固執するから！！！！

# 蒼穹の昴

- 辛亥革命当時、破格に頭の良かった中国の官僚（全国から科挙によって選りすぐられた人々）は世界がどのように変わってゆくか全く理解できなかった
- 辛亥革命を起こしたのも中国共産党を作ったのもどちらかと言うと「落ちこぼれ」的な人々
- そのような人間が結局国をそして世界を変革する

# やり方を間違えると…

- 但し、これを金融セクターで妙な革新を行おうと話がややこしくなる
- 情報の非対称性を利用した、いわば「騙し」の世界でもうけることになり、決してエコプレミアム流ではない
- エコプレミアム流の付加価値は「粹」なやり方で作り出すもの
- それには、やはり高度な教育、深い教養が必要

# 結論

- EVやPHVなどとソーラーパネル発電などの分散発電をつなげ、バリューチェーンを変革し新しいビジネスモデル・ビジネスシステムを作り上げるのは我々の挑戦
- 25%という数字に固執するのはあまり意味がない
- 新しい挑戦をするということ、新しいシステムを作り上げるということが大事なこと
- そうしないとまたEUやアメリカの後を追いかけることになりかねない